

EU理事会、知的財産権の侵害に関する欧州監視機関のOHIMへの委任を決議

2012 年 3 月 29 日

JETRO デュッセルドルフ事務所

EU 理事会は、3 月 22 日、「知的財産権の侵害に関する欧州監視部門 (European Observatory on Infringements of Intellectual Property Rights)」を OHIM (欧州共同体商標意匠庁) へ委任することを規定する規則案を採択した。

同規則案は、2011 年 5 月 24 日に欧州委員会から提案されていたもので、修正が加えられた後、本年 2 月 14 日には欧州議会からの承認が得られていたところ、今回の EU 理事会の採択によって正式に OHIM への委任が決定し、今後、欧州監視部門は OHIM の一部としてアリカンテ (スペイン) に拠点を構えることとなった。

欧州監視部門は、知的財産権の侵害が経済にとって脅威を増していることを背景に、欧州委員会の内部に「欧州模倣品・海賊版監視部門 (European Observatory on Counterfeiting and Piracy)」という名称で 2009 年に設立されたが、今回の OHIM への委託に伴い、「知的財産権の侵害に関する欧州監視部門」へと名称が変更される。また、発効日は、EU 官報で公表されてから 20 日後とされている。

今回採択された規則案は、欧州委員会が提案した時点から修正が加えられており、第 2 条第 1 項に規定される OHIM の任務の具体的内容は次のとおり変更された。OHIM は、これまでの共同体商標や共同体意匠の権利付与の役割に留まらず、あらゆる知的財産権の権利行使において重要な役割を担うこととなる。

- (a) 知的財産権の価値の理解の促進
- (b) 知的財産権の侵害の範囲と影響の理解の促進
- (c) 知的財産権保護のための公的・私的セクターのベストプラクティスの知識の向上
- (d) 知的財産権の侵害の影響に対する市民の認識の向上における支援
- (e) 知的財産権の権利行使に従事する人の専門知識の向上
- (f) 模倣製品から真正製品を区別することを補助する追跡および解明のシステムを含む、知的財産権の侵害の防止と対抗のための技術的ツールの知識の向上
- (g) 知的財産権の分野に従事する EU 加盟国の機関間の知的財産権の権利行使に関するオンラインでの情報交換の促進を支援する機構の提供と、それらの機関との協力およびそれらの機関間での協力の進展
- (h) EU 加盟国との協議の上、戦略を構築し、知的財産権の権利行使のための技法、技能およびツールを発展させるための第三国の知的財産庁との国際協力の強化

－ 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 －

[Adoption by Council of Regulation strengthening intellectual property rights body](#)

－ バルニエ委員のコメントは、以下参照 －

[Commissioner Barnier welcomes the strengthening of intellectual property rights body](#)

－ OHIM のプレスリリースは、以下参照 －

[Council agrees to entrust OHIM with Observatory](#)

－ 欧州委員会から公表された規則案に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州委員会，欧州模倣品・海賊版監視部門機能を OHIM へ委託する規則案を公表（2011 年 5 月 28 日）（PDF）](#)

(以上)